

安定冠動脈疾患に対する CCTA+FFR_{CT} 検査 vs 従来の検査 : PRECISE 試験の 1 年結果 AHA2022 Late-breaking より

HeartFlow, Inc.は本日、冠動脈コンピュータ断層撮影 (CCTA) に FFR_{CT} 解析を適用し、安定胸痛患者を評価する事で、診断精度を向上、不必要な検査を削減し、治療を必要とする患者をより確実に特定できるという新しい試験結果を発表しました。

PRECISE (Prospective Randomized Trial of the Optimal Evaluation of Cardiac Symptoms and Revascularization) 試験の結果が、本日、シカゴで開催された米国心臓学会学術集会 (AHA) の Late-Breaking Clinical データとして発表されました。

デューク大学医学部のパメラ・ダグラス氏 (PRECISE 試験責任者) は、「これは、安定胸痛患者を診断する目的で推奨されているガイドラインを裏付けるこれまでで最も高いレベルの科学的根拠となります」と述べました。「これまでは診断には複数選択肢がありましたが、この試験結果により CCTA+FFR_{CT} の診断フローは、私たち臨床医に明確な方向性を示したと言えます」。

PRECISE (65 施設 2,103 名) は、無作為化対照試験であり、AHA/ACC ガイドラインで認められている CCTA+FFR_{CT} 中心の治療法が、安定胸痛を有し冠動脈疾患が疑われる患者様の診断方針として優れていることが確認された試験です。

本試験では、非侵襲的な Precision フロー群 (CCTA+FFR_{CT}) と通常検査群 (負荷心電図、負荷シンチ、侵襲的冠動脈造影検査等) が比較されています。Precision 群は、AHA/ACC ガイドラインで認められている、低リスクの胸痛患者の検査は Defer し、それ以外の患者には CCTA と必要に応じて FFR_{CT} で検査を行うという方法と一致しています。FFR_{CT} は、熟練したアナリストによる解析と数値流体力学解析を組み合わせ、心臓のインタラクティブな 3D コンピューターモデルを作成し、血流と狭窄部分を定量化して表示するものです。

PRECISE 試験では、通常検査群と比較し、Precision フロー群において

1. **非侵襲的診断の精度が向上**：冠動脈疾患患者における偽陰性および偽陽性の割合が従来の検査と比較して大幅に減少した。
2. **不必要な検査が減少**：不必要な侵襲的カテーテル検査を 1/4 に削減し、全体として初期診断検査を減少することにより、患者負担の削減と病院リソースの効率的な利用が可能になった。

3. 適切な治療方針の選択：インターベンション治療が必要な患者を特定する確率が 75%向上した。

HeartFlow の Chief Medical Officer であるキャンベル・ロジャース氏は、次のように述べています。

「ガイドラインが既に認めていることを試験結果として得られたことを嬉しく思います。このレベル 1 のエビデンスは、冠動脈疾患疑いの患者様の治療を最適化するための判断材料として、より多くの医師によって活用されると信じています」。

CCTA + FFR_{CT} 解析は世界中の 725 施設以上の病院に採用されています。

カリフォルニア州マウンテンビュー

2022 年 11 月 6 日

HeartFlow について

HeartFlow は、最先端の技術革新を用いて心臓検査に革命を起こしているグローバルリーダーです。

当社の FFR_{CT} 解析は、数値流体力学を利用して、心臓の個別化された三次元モデルを作成します。このモデルを用いることで、医師は狭窄が血流に及ぼす影響をよりよく評価し、患者さんにとって最善の治療法を決定することができます。

HeartFlow の技術は、シリコンバレーのルーツを反映し、20 年以上にわたる科学的根拠と最新テクノロジーを組み込んでいます。HeartFlow FFR_{CT} 解析は、米国、英国、カナダ、ヨーロッパ、日本で市販されています。

詳細については、www.heartflow.com、Twitter や LinkedIn でご連絡ください。

Contact

Linly Ku

HeartFlow

media@heartflow.com